

2022年8月15日

課題名：免疫染色を用いた膵 acinar-ductal metaplasia (ADM) の細胞特性の研究

◆研究の目的と概要◆

当院では、膵臓の acinar-ductal metaplasia (ADM；腺房導管化生) とよばれる現象について、発現するマーカーを調べています。本研究は、ADM の病態を解明し、今後のよりよい診療につなげることを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2000年1月から、2026年3月までの間に病理解剖が行われた方、あるいは手術検体で膵炎と診断された方の中から、約90例を選択して研究を行います。

◆研究に使用される情報・試料◆

病理解剖、手術の標本から作製したパラフィンブロックを利用し、免疫染色を行って細胞の分化を調べます。また、臨床情報の中から、年齢、性別、臨床診断、現病歴、既往歴、合併症、術後経過（膵炎の再燃の有無、生死）、診断時（解剖例については死亡直前）の血清アミラーゼ、リパーゼ値、腹痛の有無を調べます。解剖例については死亡原因を電子カルテ、解剖標本を用いて調べます。

◆研究方法◆

本研究は過去の診療録（カルテ）等からの情報、残余検体を利用します。

-
- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
 - * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院
病理診断科 研究責任者 能登原 憲司

E-mail： kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）
（★を@に変換して使用してください）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明